

様式第2号(第2条、第3条、第4条関係)

建築物設計明細書

1 構造	(仮設永久)	(地上地下)	(新築、増築、改築、移転)	
	造り		階建て	
2 用途				
3 建ぺい率	敷地面積(A)	m ²	4 最高棟高	m
	申請建築面積(B)	m ²	5 壁面後退 最短距離	道路界 m
	既存建築面積(C)	m ²		隣地界 m
	建ぺい率 $\frac{(B)+(C)}{(A)}$	%		
6 緑地率	木竹が保全され、または適切な植栽が行われる土地の面積(D)	m ²	緑地率 $\frac{(D)}{(A)}$	%
7 色 および 材 料	屋根(明るい・普通・暗い)		色 材料	
	外壁面(明るい・普通・暗い)		色 材料	
8 設計者	住 所			
	氏 名		電 話	

- (注) 1 構造は、建築基準法によるとともに、該当するものを 印で囲むこと。
- 2 緑地率については、新築の場合に記入すること。
- 3 木竹が保全され、または適切な植栽が行われる土地の面積の算出明細書および植栽計画図を添付すること。
- 4 色彩については、明度を 印で囲むとともに、色彩を記載すること。
- 5 材料については、塗料材料および使用材料を記載すること。
- 6 改築または移転の場合は、改築または移転前の設計明細書を添付すること。

様式第3号(第2条、第3条、第4条関係)

工 作 物 設 計 明 細 書

1 種 類	
2 構 造	
3 敷地の面積	m ²
4 工作物の建築面積	m ²
5 色彩および材料	
6 設 計 者	

- (注) 1 構造については、具体的に記載すること。
2 色彩については、色彩を記載するとともに、明度を記載すること。
3 材料については、塗料材料および使用材料を記載すること。

様式第4号(第2条、第3条、第4条関係)

土地形質変更明細書

1 行為地の現況				
2 行為地の面積(A)	m ²			
3 移動土量	切土	m ³	盛土	m ³
法面の最高高さおよび跡地処理				
5 緑地率	木竹が保全され、または適切な植栽が行われる土地の面積(B)	m ²	緑地率 $\frac{(B)}{(A)}$	%
6 行為地の土地利用目的				
7 隣接地現況				
8 残土処方法				

- (注) 1 行為地の現況および隣接地の現況は、詳細に記載すること。分かりにくい場合は、写真を添付すること。
- 2 跡地処理については、裸地、砂利舗装、埋戻のほか、法面についても芝付け、コンクリートブロック、擁壁等を具体的に記載すること。
- 3 木竹が保全され、または適切な植栽が行われる土地の面積の算出明細書および植栽計画図を添付すること。
- 4 行為地の跡地利用は、宅地利用、観光利用、道路利用等と記載すること。
- 5 残土処理方法は、残土処理地を具体的に記載すること。

様式第5号(第2条、第3条、第4条関係)

木竹類伐採明細書

森林地内の伐採

1 林相	(ア) 針葉樹林	4 伐採区分面積	m ²
	(イ) 広葉樹林		
	(ウ) 針広混交(針)(広)	5 伐採量	m ²
	(エ) 竹林		
2 林齢 または 林齢範囲		6 伐採方法	(ア) 皆伐 (イ) 択伐 (択伐率 %)
3 隣接地の 現況		7 伐採跡地の 処理方法	

森林地外の伐採(集団をなす立木竹の場合)

1 伐採区域 面積		4 伐採方法	(ア) 皆伐
2 伐採量	本		(イ) 択伐 (択伐率 %)
3 隣接地の 現況		5 伐採主要樹種	
		6 伐採跡地の処理 方法	

森林以外の伐採(独立木の場合)

1 樹種名		4 目通幹まわり	m
2 樹齢	約 年	5 数量	
3 樹高			

- (注) 1 針広混交林には、針、広の比率を記入すること。
 2 隣接地の現況は、詳細に記載すること。分かりにくい場合は、写真を添付すること。
 3 伐採跡地の処理方法は、植樹方法を具体的に記載すること。
 4 目通幹まわりとは、1.5m地上高の幹周長である。
 5 森林地とは、一般に山林をいう。

様式第6号(第2条、第3条、第4条関係)

土石類採取明細書

1 採取面積	m ²
2 採取量	m ³ t
3 採取工法	
4 採取物	
5 跡地および残土処理方法	
6 採取物の利用目的	
7 隣接地の現況	

- (注) 1 採取工法については、横抗掘、たて抗掘、斜抗掘等を記載すること。
- 2 跡地処理については、裸地、砂利舗装、埋戻のほか、法面についても芝付け、コンクリートブロック、擁壁等を具体的に記載すること。
- 3 残土処理方法は、残土処理地を具体的に記載すること。
- 4 採取物の利用目的は、生コン用砂利、観賞用石等具体的に記載すること。
- 5 隣接地の現況は、詳細に記載すること。分りにくい場合は、写真を添付すること。

様式第7号(第2条、第3条、第4条関係)

水面埋立干拓明細書

1 水面の種類および 水面面積	m ²
2 埋立干拓事業	
3 埋立土量	m ³
4 隣接地の現況	
5 工事の方法	
6 跡地の利用目的	

- (注) 1 水面の種類とは、湖、河川、池、沼等のこととする。
- 2 隣接地の現況は、詳細に記載すること。分りにくい場合は、写真を添付すること。
- 3 工事の方法は、具体的に記載すること。
- 4 跡地の利用目的には、宅地利用、観光利用、工事敷地等と記載すること。

様式第 8 号(第 2 条、第 3 条、第 4 条関係)

建築物等色彩変更明細書

<p>1 変更するもの の 種 類</p>	<p>屋根・壁面・煙突・門・へい・橋・鉄塔</p> <p>その他()</p>
<p>2 現在の色彩 および材料</p>	<p>明度(明るい・普通・暗い)</p> <p>色</p> <p>材料</p>
<p>3 変更後の色彩 および材料</p>	<p>明度(明るい・普通・暗い)</p> <p>色</p> <p>材料</p>
<p>4 変更断面</p>	

(注) 1 色彩については、明度を で囲むとともに、色彩を記載すること。

2 材料については、塗料材料および使用材料を記載すること。

様式第9号(第2条、第3条、第4条関係)

土 石 等 た い 積 明 細 書

1	たい積物	
2	敷地の選定理由	
3	敷地面積	m ²
4	たい積面積	m ²
5	たい積する土地の外周線の敷地境界線からの距離	m
6	たい積の最高の高さ	m
7	たい積期間	年 月 日から 年 月 日まで
8	跡地の整理計画	敷地の整理期間 年 月 日から 年 月 日まで
		跡地の整理方法
9	隣接地の現況	

(注) 1 たい積物については、土石、廃棄物および再生資源の区別を記入するとともに、その具体的な名称を記載すること。

2 跡地の整理方法については、詳細に記載すること。分かりにくい場合は、平面図等を添付すること。

3 隣接地の現況については、詳細に記載すること。分かりにくい場合は、写真を添付すること。

様式第10号(第4条関係)

風致地区内行為通知書

年 月 日	
守山市長	あて
通知者 住所 氏名	
(印)	
風致地区内で行為をしようとするので、次のとおり通知します。	
1 規定適用項目	滋賀県風致地区内における建築等の規制に関する条例第3条第 号
2 行為の所在地	守 山 市
3 風致地区名	風 致 地 区
4 行為地の地目 および面積	m ²
5 行為の種類	
6 行為の目的 および理由	
7 行為期間	年 月 日から 年 月 日まで

様式第11号(第5条関係)

風 致 地 区 内 行 為 完 了 ・ 廃 止 届 出 書

守山市長		あて		届出者 住 所		氏 名		印○				
1 許可年月日 許可番号	守山市指令 年 月 日 第 号											
2 許可を受け た行為												
3 行為地												
4 行為着手・ 完了・廃止年 月日	着 手		年 月 日		完 了		年 月 日		廃 止		年 月 日	
5 備 考												

(注)廃止の場合は、備考欄にその理由を記載すること。